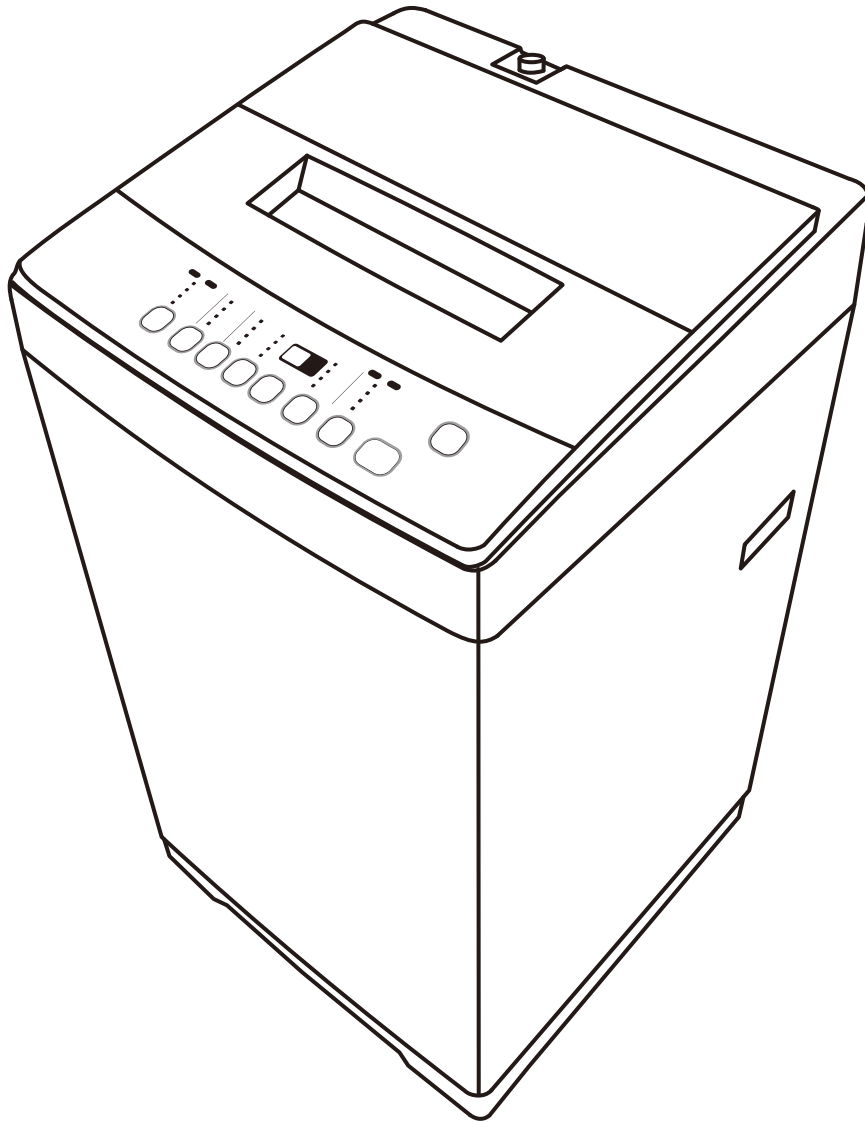


取扱説明書



全自動洗濯機

(家庭用) 洗濯・脱水容量 7kg

ES312883

取扱説明書

このたびは弊社製品をお求めいただき、まことにありがとうございます。本製品を安全にお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みになり、ご理解の上正しくお使いください。ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。

もくじ

ご使用前に

安全上のご注意	P1
各部のなまえ	P4
付属品	P4
操作パネル	P5
チャイルドロック設定・解除のしかた	P5
洗濯前の確認と準備	P7
洗濯できないもの	P8
洗濯物の入れかた	P9

洗濯コースと設定

ふたが開かないとき	P10
洗濯用剤と洗剤の入れかた	P11
洗濯する	P13
毛布など大物を洗う	P15
デリケートな衣類を洗う	P17
デリケートな衣類の扱いかた	P19
運転終了時間を予約する	P20
部分的に運転する	P21
自分流に設定する	P22
風乾燥との組み合わせ	P23
ふろの残り湯を使う	P24
洗濯・脱水槽の掃除(槽洗浄)	P24
洗濯・脱水槽を乾燥させる(槽乾燥)	P25
運転中の行程変更について	P25

お手入れ・アフターサービス

お手入れ	P26
凍結のおそれがあるとき	P28
お困りのときは	P29
こんなときは故障ではありません	P30
こんな表示がでたら	P32
製品仕様	P33
安全表示制度の本体表示について	P33
家庭用以外で使用した場合	P33
アフターサービス	P34

安全上のご注意

ご使用になる前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。この取扱説明書に記載の注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき人体への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。注意事項は危険や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った使い方、取扱いをすることにより生じると想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

図記号の例



「してはいけない内容」を示しています。記号の中や近くに具体的な禁止内容が描かれています。(左図の場合は「分解禁止」)



「しなければならない内容」を示しています。記号の中や近くに具体的な指示内容が描かれています。(左図の場合は「電気プラグをコンセントから抜いてください」)



警告

据え付け



禁止

- 水のかかりやすい場所や、湿気が多い場所に置かない(漏電による火災・感電の原因)
- ベランダ、庭などに据え付けない(風雨にさらされる)
- 浴室に据え付けない(湿気が多い)
- キャスター付きの台など不安定な場所に据え付けない



- 確実に排水できる場所に置く(排水不良による漏電で、火災・感電の原因)

電源プラグ・コード



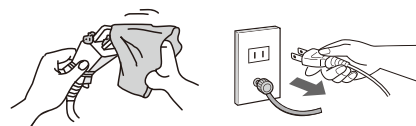
次のことはしない(火災・感電・けがの原因)

- 傷んだ電源コード・電源プラグ・ゆるんだコンセントは使わない
- 電源プラグはぬれた手で抜き差ししない
- 電源コードを傷付けない、破損させない、加工しない、引っ張ったり、無理に曲げたりしない
- ねじったり、束ねたりしない、重いものを載せたり、はさみ込んだりしない、金属のものに引っ掛けない・熱器具に近づけない
- 延長コードの使用、テーブルタップなどによるタコ足配線はしない
- 修理技術者以外の人が分解したり修理したりしない



次のことを守る(火災・感電・けがの原因)

- 100V、15A以上のコンセントを単独で使用する
- 電源プラグは根元まで確実に差し込む
- 電源プラグを抜くときは、電源プラグを持って抜く
- お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く
- 電源プラグの刃と刃の取り付け面に付いたホコリは、定期的に乾いた布でよく拭き取る
- 機器を接地しないで使用すると感電する危険がある



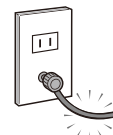
警告

電源プラグ・コード



プラグを
抜く

- 長期間使わないときは、電源プラグを抜く（絶縁劣化による、感電・漏電の原因）



アースの
取付

- アース線を取り付ける（漏電時に感電する原因）
アース工事は、必ず販売店にご依頼ください。（工事費は本体価格に含まれていません）

異常時



プラグを
抜く

- 異常・故障時は、すぐに使用を中止し、電源プラグを抜く（火災・やけど・感電の原因）
お買い上げの販売店、またはご相談窓口にご連絡してください。

異常・故障例

- ・電源プラグ・電源コードが異常に熱い
- ・電源を入れても運転しないことがある
- ・運転中に異常な音がする。焦げくさい
- ・「E 6」エラーが発生

使うとき



- 引火物やそれらが付いた洗濯物は、洗濯・脱水槽に入れたり近づけたりしない（揮発したガスなどに引火し爆発や火災の原因）

- 子供など取り扱いに不慣れな人だけで使わせない洗濯・脱水槽をのぞかせない（洗濯・脱水槽に落ちて感電やけがをしたりおぼれたりする原因）
安全管理を行う付き添いおよび指示のもとでご使用ください。
また近くに台などを置かないでください。



- 分解・修理・改造しない（火災・感電・けがの原因）
修理は、お買い上げの販売店またはご相談窓口にご相談ください。



- 洗濯・脱水槽が完全に止まるまで、中に手を入れない（ゆるい回転でも洗濯物が手に巻き付き、けがの原因）



- 水や洗剤をかけない（火災・感電・ショート・破損の原因）



- 火気を近づけない（火災の原因）
・蚊取り線香、タバコ、ローソクなど





注意

使うとき



- 洗濯機にのぼったり、ものを載せたりしない(変形・破損・けがの原因)
- 40℃以上のお湯を使わない。給湯器とつながない
(プラスチック部分が変形し、漏電・感電の原因)
- カーペットなど、底面の通気をさまたげる場所に据え付けない
- 古い給水ホースを使用しない
給水ホースは付属の新しい物を使用してください。
備え付けや使用済み物を使うと水漏れの原因になります。



- 本体の下に手や足などを入れない(回転する部分などでけがをする原因)
市販の高さ調整板の取り付けなどは、側面底部を避け、指定の方法で行ってください。



- 使う前に水栓を開け、給水ホースの接続部がゆるんでいないことを確認する(水漏れの原因)
運転終了後は、水栓を閉じてください。

洗濯物

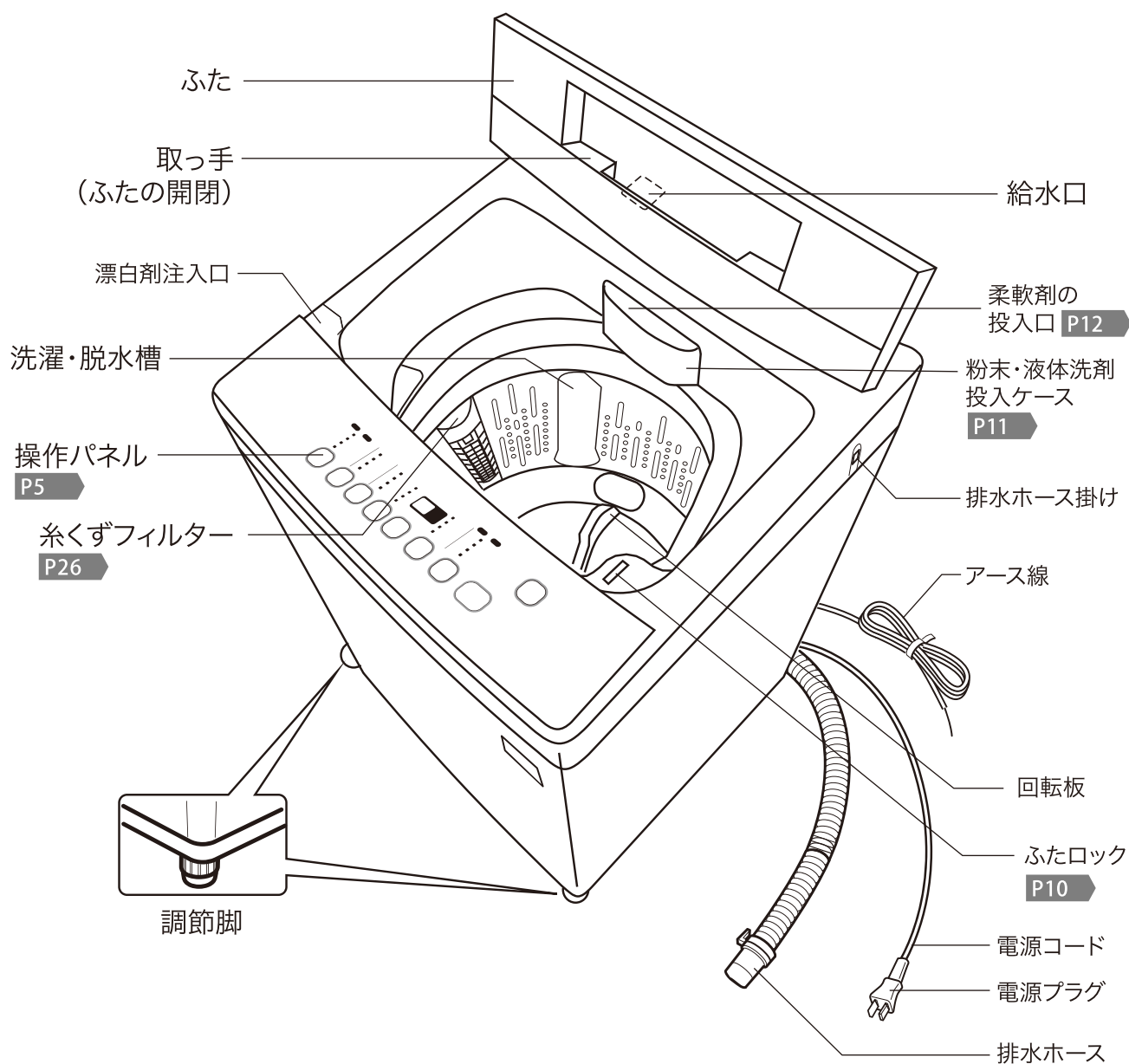


- 防水性のもの・水を通しにくいものは、洗濯・脱水しない
(洗濯物の飛び出しや脱水中の異常振動によるけが、本体・家屋などの破損、洗濯物の損傷の原因)
サウナスーツ、レインコート、釣具ウェア、スキーウェア、寝袋、おむつカバー、ウェットスーツ、自転車・バイク・自動車のカバー、防水シートなど。
- カーペット、玄関マット、足ふきマットなど厚くてかたいものは、洗濯しない
(異常振動によるけが、本体・家屋などの破損、洗濯物の損傷の原因)
洗える表示があっても洗わないでください。

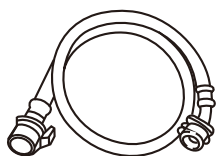


- ふたを閉めるときに、洗濯物が挟まっていないか確認する(洗濯物の損傷原因)
- 洗濯物のひもは結び、ファスナーやボタンを閉めてから運転する(洗濯物の損傷原因)

各部のなまえ



付属品



給水ホース・ホースつぎて×1

※据え付けについては別紙の据付説明書をご覧ください。

1 操作ボタンについて

予約ボタン

運転開始の時間を予約することができます。

スタート/一時停止ボタン

- 全てのコースのスタート時に押します。
- 運転中にボタンを押すと、30秒以内にロックが解除され蓋が開きます。

電源ボタン

電源の入/切。

点灯 点滅
16 L ■ 21 L
26 L ■ 31 L
35 L ■ 38 L
44 L ■ 50 L

□ 20分
□ 15分
□ 12分
□ 9分

□ 4回
□ 3回
□ 2回
□ 1回

□ 9分
□ 7分
□ 5分
□ 3分

□ ロック解除
□ ロック解除
□ ロック解除

□ 150分
□ 90分
□ 60分
□ 30分

点灯 点滅
標準 ■ つけおき
節水 ■ スピーディー
毛布 ■ 槽洗浄
ドライ ■ 風乾燥 (槽乾燥)

切/入

水量

洗い

すすぎ

脱水

予約

風乾燥 (槽乾燥)

コース

スタート
一時停止

水量ボタン

- ご利用頂きたい水位が設定できます。
- ボタンを押せば、設定された水位が表示されます。

16 L ■ 21 L
26 L ■ 31 L
35 L ■ 38 L
44 L ■ 50 L

洗いすすぎ脱水行程ボタン

洗濯中の濯ぎ回数や脱水時間を変更できます。

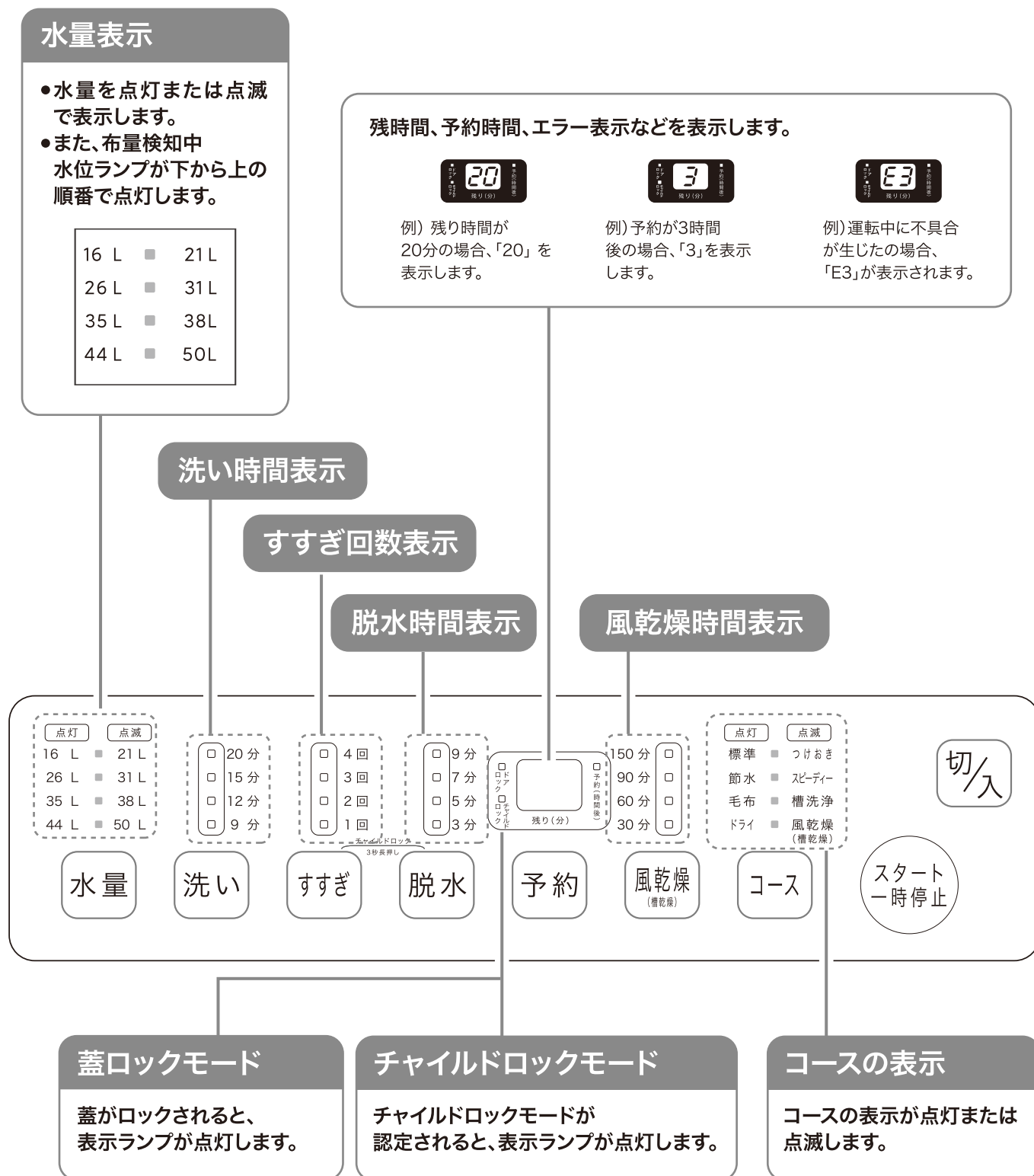
コースボタン

洗濯物の量に応じたコースを選択できます。

チャイルドロック設定・解除のしかた

- 設定方法
 - 1.“すすぎ”+“脱水”ボタンを同時に押して。
 - 2.“”が点灯したら、3秒後チャイルドロックが設定できます。
- 解除方法
 - 1.“すすぎ”+“脱水”ボタンを同時に押して、
 - 2.“”が点灯したら、3秒後チャイルドロックが解除されます。

2 表示について



※行程とは、全自動洗濯機の動作の呼び名で、布量検知行程、給水行程、洗い行程、すすぎ行程、脱水行程、排水行程などがあります。

洗濯前の確認と準備

1 洗濯のコース

衣類の取り扱い絵表示を確認し、洗濯物に適したコースを選びましょう。



普段の洗濯

→ **標準コース** P13

よごれの多いもの

→ **つけおきコース** P13

節水して洗う

→ **節水コース** P13

よごれの軽いものを早く洗う

→ **スピーディコース** P13



毛布など大物を洗う

→ **毛布コース** P15

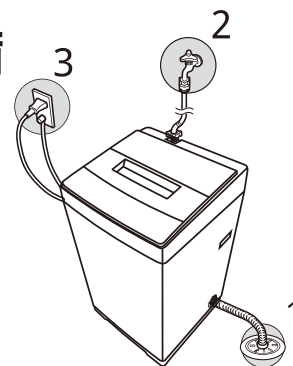


デリケートな衣類を洗う

→ **ドライコース** P17

2 洗濯の準備

1. 排水ホースを排水できる状態にする
2. 給水ホースを取り付け、水栓を開く
3. アースと電源プラグを取り付ける



安全にお使いいただくために、次のことを運転前にご確認ください。

- 排水ホースは確実に排水口に取り付けられている。
 - 排水ホースは排水が止まらないよう高さは15cm以下に収まっている。
 - 給水口・水栓の接続部分にぐらつきなく給水ホースが取り付けられている。
 - 洗濯機本体は安定した水平な場所に据え付けてあり、固定されている。
- 別添の据付説明書もご覧ください。

糸くずフィルターは必ず取り付けてください。

取り付けずに運転すると、水はねがひどくなったり、取り付け部に衣類が引っかかり、衣類を傷めることがあります。

ふる水を利用するときは「ふるの残り湯を使う」をご覧ください。P24

3 洗濯量について

洗濯量

洗濯物の種類・大きさ・厚さなどによって洗える量が変わります。洗濯物の動きが悪いときは洗濯物の入れすぎです。

洗濯量の目安

衣類のおよその洗濯量を覚え、入れすぎないようにしてください。洗濯物によって洗濯できる量が異なります。洗濯のみの場合。

- 普通の洗濯物は6.0Kg以下
- シーツは6枚、約3.0kg以下
- レースのカーテンは約2.5kg以下
- バスタオルは6枚、約3.0kg以下

1枚の重さの目安



靴下
[約 50g]



パジャマ上下
[約 500g]



ブラウス
[約 200g]



バスタオル
[約 300g]



ブリーフ
[約 50g]



アンダーシャツ
[約 130g]

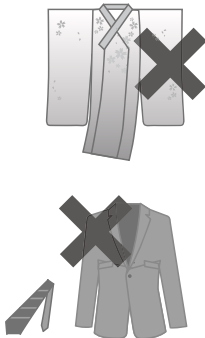


Yシャツ
[約 200g]



シーツ
[約 500g]

洗濯前の確認と準備(つづき)

洗濯できないもの	
座布団や枕、布団、クッションなど、ワタやウレタン(スポンジ類)を使ったもの 	洗濯物を傷めたり故障の原因
純毛の毛布、電気毛布、ロングパイル(毛足10mm以上)の毛布、カーペット  ※洗える電気毛布やカーペットカバーは、その取扱説明書に従ってください。	毛だおれするなど洗濯物を傷めたり、故障の原因
市販の洗濯補助具(洗濯ボール、ゴミ取りフィルターなど)	変形・破損などによって、洗濯物を傷めたり故障の原因
●皮革製品、羽毛、毛皮など(部分的に使われているものも含む) ●絹(混紡製品も含む) ●レーヨン、ポリノジック、キュプラなど(裏地に使われているものや混紡製品も含む) ●コーティング加工、樹脂加工(接着剤を使ったもの)を施したもの ●エンボス加工(布に凸凹の模様をつける加工)、シワ加工を施したもの ●ちりめんなどの強搬糸(強くよじった糸)を使ったもの ●和服、和装小物、ベルベット、別珍 ●スーツ、ジャケット、コート、ネクタイなど芯地を使っているもの 	洗濯物の傷み、縮み、形くずれ、色落ち、水ジミ、風合いを損なうなどの原因

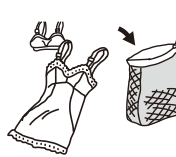
※「安全上の注意」にも洗濯できない衣類について記載しています。そちらもご覧ください。

P3

4 洗濯物の確認・準備

- ☑ 取り扱い絵表示をチェックする
- ☑ 色物と白物は分ける
他の衣類への色移りを防ぐため。
- ☑ ポケットの中のものを取り除く
硬貨、ネジ、ヘアピン、
くぎ、砂、つまようじなどは
本体内部や排水経路に詰まり、
水漏れや故障の原因になります。

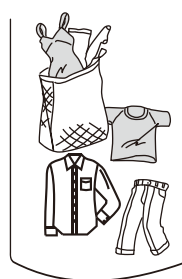
- ☑ よごれのひどい部分やシミは前処理をする
部分洗い用洗剤、中性洗剤、漂白剤などを
用途に合わせて使ってください。
- ☑ ドロや砂はブラシなどでよく落とす
- ☑ 飾り・付属品付き衣類、コードロイなど起
毛素材衣類は裏返す
衣類の傷み、毛玉、糸くずが付くのを防ぐため。
- ☑ ひもは結ぶ、ファスナーは閉める、マジック
テープは留めておく
衣類やファスナーの
傷みを防ぐため。
●マジックテープは
留めておかないと
衣類に付いたり、
傷みの原因になります。

- ☑ デリケートな衣類は洗濯ネットに入れる
衣類の傷み、形くずれを防ぐため。
●レース付き衣類、
ブラジャー、
ストッキング、
タイツなど。

- ☑ 糸くずが気になるものは、タオル類とは分け
るか、市販の糸くず防止ネットに入れる

5 洗濯物の入れかた

1. 大物や水に浮きやすいものを先に入れる

ネットに入れた
デリケートな衣類
は最後に。



シャツやブラウスなど、
やや軽いもの。

トレーナーや
パジャマなど
かさばるもの。

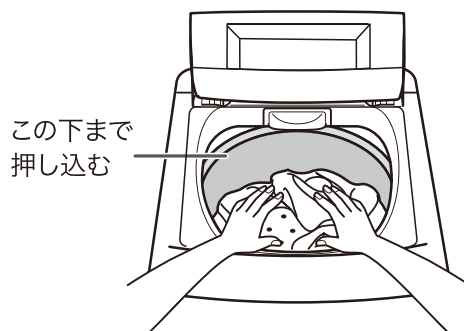
綿のズボンや
ジーンズなど
重いものから入れる。

《水に浮きやすい衣類》

- ジャンパーなど表地や裏地が化繊100%のもの。
 - フリースなど化繊100%または混紡衣類
- ※化繊とは、ポリエステル、アクリル、ナイロンなどです。

※洗濯機で洗える表示があっても、枕、座布団、クッションなど、上から押さえても洗剤液がしみ込まないものは洗えません。脱水時に洗濯物が飛び出す原因になることがあります。洗濯物が飛び出すことによって故障した場合は、保証対象外となります。また、異物などによって故障(水漏れなど)した場合は、保証の対象外となります。

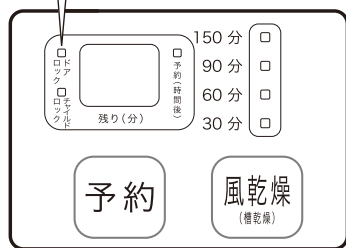
2. 洗濯機は均一に入れ、よく押し込む。



学生服など形くずれの気になる衣類やかさばる衣類(柔道着、空手着など)は、市販のネット(50×70cm以上)、または市販の毛布洗いネットに入れて単独で洗う

ふたが開かないとき

点滅・点灯しているときは無理に開けないでください。ふたが破損するおそれがあります。



ドアロックされる行程

給水

給水が終わるとドアロックが点灯
ふたが開いていると運転が止まります。

洗い
すすぎ
脱水

ふたロック中

運転が終わるとふたロック ■ が消灯
● ふたを開けることができます。
● チャイルドロックを設定している場合は、
設定を解除してください。

ふたロックの解除

ふたロック ■ が消灯したら、ふたを開けられます。

運転中

- **スタート一時停止** を押して一時停止する
- 脱水運転中は、脱水時間表示部分が点滅から点灯に変わり、約70秒後にふたロックが解除されます。

電源が切れているとき

- **切入** を押して電源を入れる
- 運転中に電源を切ったり、停電すると、ふたがロックされたままになります。電源を入れ直してください。
- チャイルドロックを設定している場合は、設定を解除してください。

お知らせ

- 洗濯・脱水槽が止まっても、すぐにふたロックが解除されないことがあります。異常ではありません。
- ふたロックが故障したときは、すぐに使用を中止し修理を依頼してください。けがの原因になります。

チャイルドロック設定・解除のしかた

洗濯時に幼児が誤って洗濯・脱水槽に落ちないように、安全のため強制的にふたをロックし、開かないようにすることができます。
(電源が入っているときは、いつでも設定・解除ができます)

設定のしかた

1. 「すすぎ」ボタンと「脱水」ボタンを長押しすれば。
2. ■ 表示ランプが点灯し、3秒後チャイルドロックが設定されます。

万が一、蓋を開けた時、異常を知らせるブザーが鳴り続くなら、運転を止めて、電源を接続し直してください。

解除のしかた

1. 「すすぎ」ボタンと「脱水」ボタンを長押しすれば。
2. ■ 表示ランプが消灯し、3秒後チャイルドロックが解除されます。

洗濯用洗剤と柔軟剤の入れかた

洗濯用洗剤の目安

※「スピーディー」コースの洗剤量は、下表の表示の半分の量を入れてください。

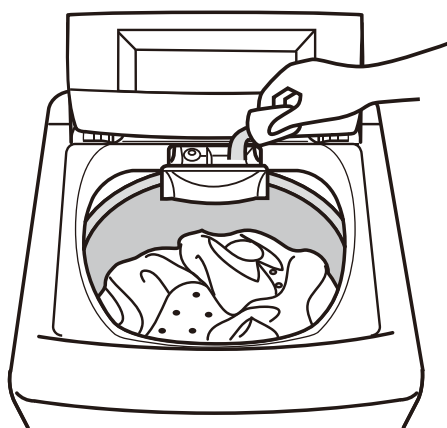
洗濯量の目安	設定水量	合成洗剤			粉石けん	柔軟剤	
		粉末洗剤	液体洗剤	液体中世洗剤		一般タイプ	濃縮タイプ
6.0kg	44-50L	約33g	約33g	約67g	約60g	約33g	約12g
4.5kg	35-38L	約28g	約28g	約55g	約50g	約28g	約10g
3.0kg	26-31L	約23g	約23g	約45g	約41g	約23g	約8g
1.5kg	16-21L	約14g	約14g	約28g	約25g	約14g	約5g

※粉石けんとは天然油脂で作られた洗剤で、「品名洗濯用石けん」と記載されています。

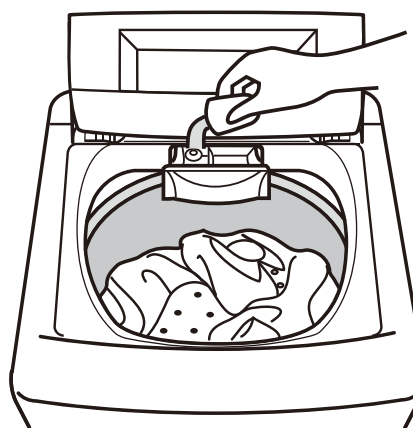
《お願い》

- 洗剤は入れすぎないでください。(上の表を参考に衣類の量に応じて加減してください)
入れすぎると泡が立ちすぎたり、すぎぎが不十分になったりするだけでなく、泡があふれ出て、床面をぬらすなど、思わぬ被害を招くことがあります。
- 「予約」をするときは、粉石けんは使わないでください。溶けにくいため固まる場合があります。
また、洗濯物に直接かけたり、洗剤や洗濯物が湿っていたりするときは、洗剤が残る原因になります。
- 洗剤・漂白剤の使用量および使用方法は、洗剤、漂白剤の説明書をよく読んで、正しくご使用ください。
- 粉末洗剤・液体洗剤
「粉末液体洗剤投入ケース」へ入れてください。
粉末洗剤を入れる時は青い液体洗剤容器を外して入れてください。

粉末洗剤・液体洗剤を入れる場所



柔軟剤を入れる場所



粉末状の物を入れる時は
平らになるように入れてください。



洗濯洗剤と柔軟剤の入れかた(つづき)

粉石けん

粉石けんの溶かしかた

1. 30℃前後のぬるま湯約5L(水が少ないと固まることがあります)を別の容器(バケツなど)に用意し、十分かき回しながら、粉石けんを少しずつ入れます。
2. 粉石けんが固まったり、粒が残ったりしないよう十分溶かしてから洗濯・脱水槽へ入れます。



《お願い》

- 粉石けんの使用量が多すぎたり、低温の水に直接粉石けんを入れたりすると、洗濯物や糸くずフィルターに洗剤が残ることがあります。
- 1カ月に1度の「槽洗浄」コースの運転をおすすめします。

柔軟剤

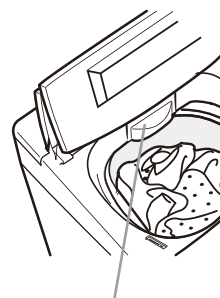
使用量および使用方法是、水量表示を目安に、「柔軟剤注入口」へ1回分の柔軟剤を入れます。

柔軟剤の説明書をよく読んで正しくご使用ください。

- 柔軟剤の種類によって流れにくいものがあります。同量の水でよく溶かしてから「柔軟剤注入口」に入れてください。
- 柔軟剤の種類によっては、少量の水と混ざると固まるものがあるため、柔軟剤の説明書に従ってください。
- 柔軟剤が投入される仕組み
すすぎで自動的に投入されます。

《お願い》

- 脱水運転中に一時停止すると柔軟剤の投入時期がずれ、仕上げ効果が悪くなります。
- 柔軟剤を入れたまま長時間(12時間以上)放置しないでください。固まることがあります。



柔軟剤注入口
「柔軟剤」と記載されています。

のりづけ

使えるのり洗濯機用の化学合成のり(酢酸ビニール系、PVAC)

※それ以外ののりは、故障の原因になるおそれがあるため、使わないでください。

のりづけできる量: 1.5kg以下 (のりの量は、のりの説明書に表示されている分量)

《お願い》

- のりづけ終了後は洗濯・脱水槽に付いたのりを落とすために「槽洗浄」コース **P24**、または一番上の水位まで水を入れ、「洗い」「脱水」で運転してください。 **P22**
- のりづけした衣類は、衣類乾燥機に入れないでください。

洗濯する

洗濯できる量

標準コース	普段の洗濯	6.0kg以下
つけおきコース	よごれの多いものを洗う	3.0kg以下
節水コース	節水しながら洗う	6.0kg以下
スピーディコース	よごれの少ないものをはやく洗う	4.5kg以下

標準コース

センサーが洗濯物の量を検知し、重量に適した水位で洗います。

つけおきコース

つけおき時間が25分のため、傷みやすい化繊や色落ちしやすい衣類は洗わないでください。傷んだり色落ちすることがあります。

節水コース

最後に濯ぎが終了した時、5Aが表示され、ブザーが2回鳴った場合、排水プログラムを実行させるために、手でボタンを押す必要となります。

スピーディコース

- 洗剤量は、「標準」コースの半分を目安に入れてください。洗剤を入れすぎると、すすぎが不十分になります。
- 「スピーディ」コースでは、脱水回数が少ないため、柔軟剤は標準コースの半分を目安に入れてください。
- 粉石けんは使わないでください。合成洗剤より洗濯物に残りやすく、黄ばみや粉石けんのにおいが付く原因になります。

水位について

- 軽い衣類(化繊・混紡の衣類、シーツなど)では水位が低くなることがあります。また、衣類がぬれていると水位が高めになることがあります。

水量 を押して調節してください。

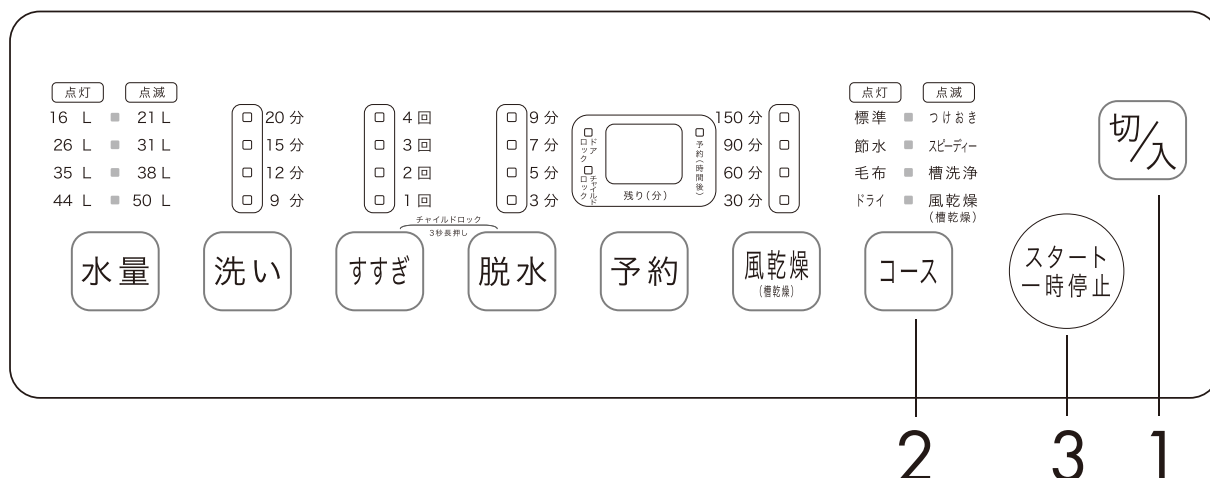
※洗濯物の量に対して極端に水位を高くすると、水はねがおきたりするおそれがあります。

洗い途中に洗濯物を追加するとき

1. **スタート一時停止** を押し、一時停止する
ふたロック  が消灯したら、ふたを開けられます。 **P10**
2. ふたを開け洗濯物を入れる
水量 を押し、洗濯物の量に合わせて水位を調節してください。
3. ふたを閉めて、**スタート一時停止** を押す
運転が始まります。(ふたを閉めないと運転が始まりません)



洗濯する(つづき)



1

水道の栓を開け、洗濯物を入れ

切/入を押して電源を入れる

行程表示が点灯
洗濯量 **P7**
洗濯物の入れかた **P9**

2

コースを押してコースを選ぶ

自分流に設定する **P22**

3

スタート一時停止を押す

- パルセーターが回転して洗濯量をはかり、約1分間水位を表示し待機します。
- 待超中は、残り時間を表示します。

予約は**スタート一時停止**を押す前に設定する **P20**

4

水位表示を目安に洗剤などを入れる

- 洗濯用剤量の目安 **P11**
- 洗剤・柔軟剤などの入れかた **P11** **P12**

5

ふたを閉める

- ふたを閉じると、ふたロックランプが点灯してふたロックがかかり、給水が始まります。
- スタート一時停止**を押した後、1分が経ってもふたが閉まっていないと、E3が交互に表示され、ブザーが鳴って洗濯は一時停止します。その場合、ふたを閉じれば運転を再開します。

6

運転終了 (ブザーでお知らせ)

水栓を閉じ、糸くずフィルターを清掃する **P26**

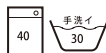
ご使用の前に

洗濯コースと設定

お手入れ・アフターサービス

毛布など大物を洗う

洗える毛布の目安



表示のあるもの

種類 マイヤー・タフト・織毛布

大きさ シングルサイズ(140cm×200cm)

重さ 3.5kg以下

洗える毛布・カーペットカバーの折りかた

- ゴミや糸くずを取り除き、縦長に8つに折り、巻いてください。
- マイヤー毛布以外は、ゆるめに巻いてください。



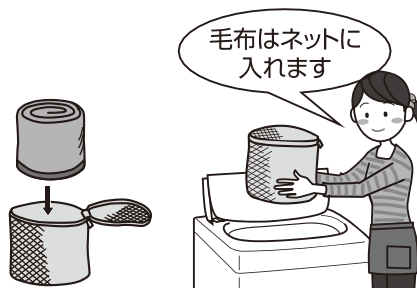
以下の洗濯物は、必ず市販の「毛布洗いネット」に入れてください

毛布、水に浮きやすいもの、布傷みが気になるもの

※毛布洗いネットに入れずに洗濯すると、洗濯物が洗濯・脱水槽から飛び出し、脱水中に異常振動し、洗濯機の破損、洗濯物の損傷などのおそれがあります。

毛布洗いネットへの入れかた

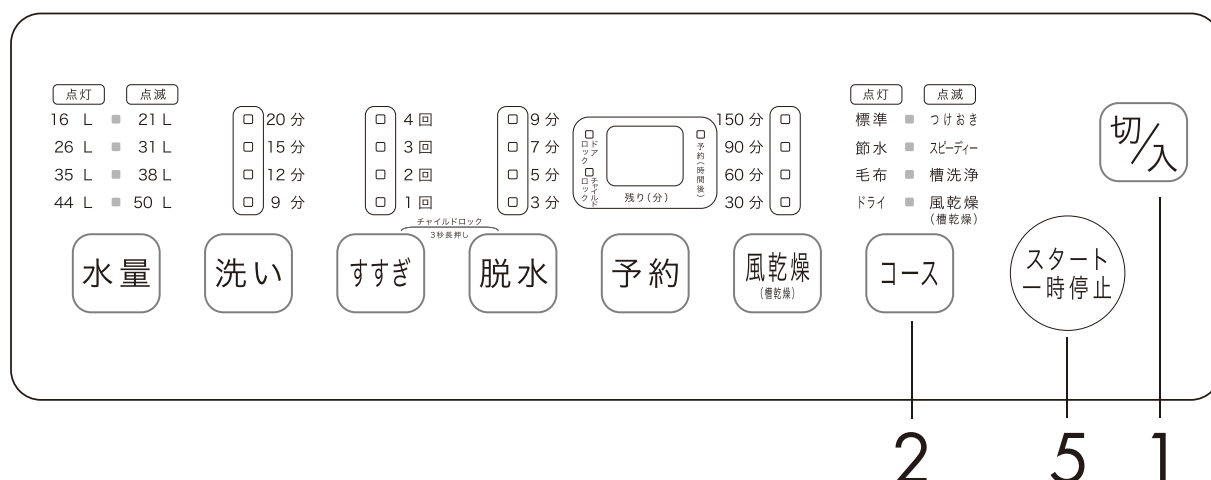
ヘリのある方を毛布洗いネットの下になるように入れてファスナーを閉め、ファスナーが上になるように洗濯・脱水槽に縦にして入れます。



《お願い》

- 毛布洗いネットに入れる洗濯物は、できるだけ高さが低くなるように折ってください。
- 毛足の長さや生地の厚みなどによって、洗濯物が毛布洗いネットに入らないときは洗濯できません。
- 水に浮きやすい洗濯物は、給水後に一時停止し、上から押さえて十分に洗剤液を含ませてください。

毛布など大物を洗う(つづき)



ご使用の前に

洗濯コースと設定

お手入れ・アフターサービス

デリケートな衣類を洗う

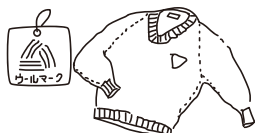
洗濯前に、必ず確認してください



洗えるもの

取り扱い絵表示が や のおしゃれ着やデリケートな衣類

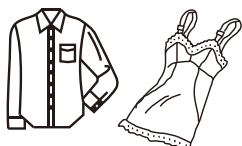
- ウール、アンゴラ、カシミアのセーター、カーディガン類



- スラックス、スカート、学生服類



- ブラウス、シャツ、ランジェリー類



洗えないもの

取り扱い絵表示と素材表示がないものは洗わないでください。

表示があっても洗えないものがあります。

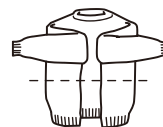
- 水につけると、形くずれ、縮み、風合いの低下を起しやすいもの
- 皮革製品、または皮革、羽、毛皮など装飾のあるもの
- 絹、レーヨン(ポリノジックも含む)、キュプラおよびその混紡品(裏地でも不可)
- スーツ、ジャケット、コート、ネクタイなどの形くずれしやすいもの(芯地を使ったもの)
- コーティング加工、樹脂加工(接着剤を使ったもの)を施したもの
- エンボス加工、シワ加工を施したもの
- ちりめんなどの強搬糸(強くよじった糸)を使ったもの
- ベルベット、別珍など
- 重いもの
- 毛布、カーテンなどの大物
- 水に浮いてしまうもの
- スキーウェア、ダウンジャケットなどの防水加工品
- 水で色落ちするもの

衣類の入れかた

- 表示のあるものを洗うときは、市販の洗濯ネット(角型)に入れてください。
- 表示のものは、洗濯ネットに入れる必要がありません。
- 衣類は洗濯・脱水槽に入る大きさに折りたたみ、平らになるようにパルセーターの上に置いてください。
- ネットに入れたセーターは、よごれている方を下向きにしてください。

洗濯ネットへの入れかた

1. 裏返しにして、えり、そでなどよごれたところが表に出るようにたたむ
2. 1枚ずつ市販の目の粗い洗濯ネット(角型30×40cm)いっぱいになるように入れる



洗濯物が浮いているとき

化繊など水に浮きやすいものを洗うときは、給水後に一時停止し、上から軽く押さえて洗剤液を十分に含ませてください。



のウォッシュブルシルク製の衣類を洗うポイント

- 風合い良く仕上げるために柔軟剤を使う
- 脱水時間は短めにする
- 陰干しする天日干しすると、黄ばんだり変色したりすることがあります。シワが気になるときは、半乾き状態で裏から中温のドライアイロンを軽くかけてください。
- シルク類衣服の場合、漂白剤を使用しないでください

デリケートな衣類を洗う(つづき)

選択できる量と水位の目安

The diagram illustrates the control panel of a washing machine with various settings and their corresponding water levels and wash cycles. The settings are organized into columns and rows, with some settings having multiple options.

- 水量 (Water Level):** 16 L, 21 L, 26 L, 31 L, 35 L, 38 L, 44 L, 50 L. (Point light indicator)
- 洗い (Wash):** 20分, 15分, 12分, 9分. (Point light indicator)
- すすぎ (Rinse):** 4回, 3回, 2回, 1回. (Point light indicator)
- 脱水 (Spin):** 9分, 7分, 5分, 3分. (Point light indicator)
- 予約 (Timer):** 150分, 90分, 60分, 30分. (Point light indicator)
- 風乾燥 (Tumble Dry):** 標準, つけおき, 節水, スピーディー, 毛布, 槽洗浄, ドライ, 風乾燥 (槽乾燥). (Point light indicator)
- コース (Course):** 切/入 (Point light indicator)
- スタート一時停止 (Start/Pause):** 2, 3, 1 (Point light indicator)

1 水道の栓を開け、洗濯物を入れ 切/入を押して電源を入れる •洗える衣類か確認してください。 •行程表示が点灯。	2 コースを押して「ドライ」を選ぶ	3 スタート一時停止を押す 残り時間を表示します。
4 洗剤や柔軟剤などを入れる P11 P12	5 ふたを閉める •蓋が開いた状態では、給水が止まります。 •蓋を閉め、蓋ロックを掛けてから、給水が始まります。	6 運転終了 (ブザーでお知らせ) 水栓を閉じ、糸くずフィルターを清掃する P26

※ふろの残り湯、お湯は使わないでください。

※洗剤量と洗剤使用上の注意事項などは、洗剤の説明書に従ってください。

※液体中性洗剤(ウール・おしゃれ着洗い用、蛍光剤無配合のもの)を使ってください。

※衣類に洗剤を直接かけないでください。

ご使用の前に

洗濯コースと設定

お手入れ・アフターサービス

デリケートな衣類の扱い方

色落ちについて

色落ちしそうな衣類は、目立たないところに洗剤を付け、白いタオルで強く押さえて色落ちの確認をしてください。
色落ちするものは洗わないでください。

シミ抜き、部分洗い

- えり、そでなどの頑固なよごれは、裏側にタオルを当て、よごれの周りから水でぬらし液体中性洗剤（ウール・おしゃれ着洗い用、蛍光剤無配合のもの）を付け、タオルなどでやさしく押さえます。
- 部分洗い用洗剤を使うときは、蛍光剤無配合のものを使ってください。

※パーマ液など化学変化したシミ、鉄さび・カビ・墨汁・インク・口紅・日光などで黄変・変色したものは落ちないことがあります。

※シミは放置すると落ちにくくなるので、シミが付いたらすぐに処置してください。



陰干し(乾燥)

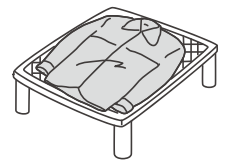
風通しの良い日陰に干します。手のひらで軽くたたいてシワを伸ばし、形を整えて干します。セーターなどは平干ししてください。

※脱水が足りず水分が多いときは、バスタオルなどで衣類をはさみ、押さえて水気を取ってください。

※衣類乾燥機で乾かすときは、おしゃれ着乾燥ができる衣類乾燥機以外は使わないでください。



ハンガーにタオルを巻いて、肩幅に合わせて使ってください。



上手なアイロンのかけかた

アイロンの使用方法是、アイロンの取扱説明書に従ってください。

●セーターなどのとき

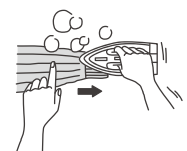
全体仕上げアイロンのかけ面が軽く触れる程度で、全体にスチームをかけます。

※押さえがけをすると、セーターの風合いが損なわれます。



●そで口などの部分仕上げ

縦方向に引っ張りながら形を整える。伸びきったゴム編み部分には、たっぷりスチームをかけます。



●あて布の使いかた

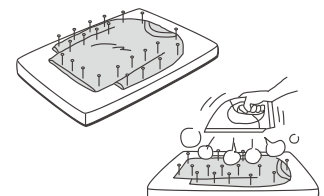
刺しゅう、ビーズの付いたもの、スカートやスラックスには当て布をします。

もし、縮んでしまったら

ウール、麻などは縮みやすい素材です。洗濯で縮んだものは、以下の方法である程度伸ばすことができます。
衣類を購入したときに、型紙を取っておくと便利です。

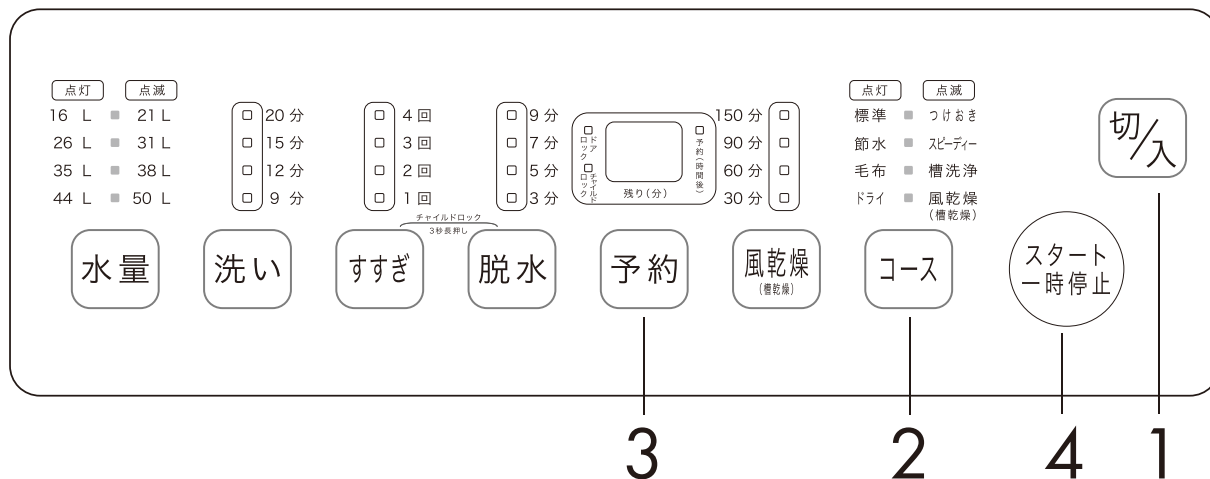
1. 乾燥した衣類を広いアイロン台に載せ、伸ばしたい寸法に広げてマチ針を打つ

2. アイロンを浮かしてスチームをたっぷりかけ、乾くまでそのままの状態にしておく



運転開始時間を予約する

予約ボタンで運転開始時間を予約できます。※「風乾燥(槽乾燥)」コースは予約できません。



予約内容の確認

- ふたを閉めると予約時間だけが表示されます。
- 予約を押している間、予約内容が表示されます。※実際の終了時間は、給水・排水などの条件によって多少異なります。

予約の取り消しと変更

電源を切ります。変更は電源を入れ直し、最初からやり直してください。

柔軟剤を使うとき

- 水位の表示を目安に「柔軟剤注入口」に入れてください。 P12
- 次のときは、洗剤が残る原因になります。洗剤が湿っている / 洗剤を洗濯物の中に直接入れる / 洗濯物がぬれている

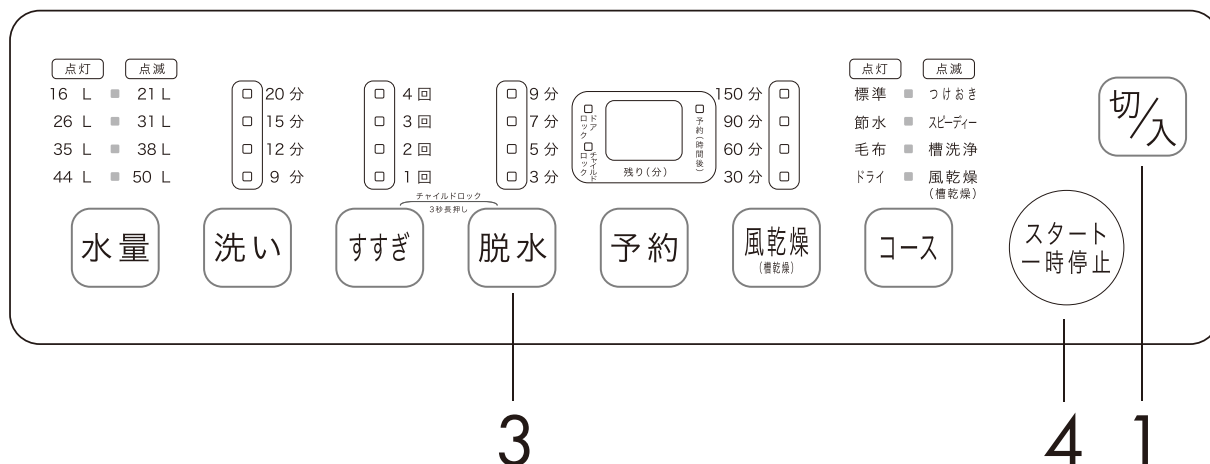
《お願い》 粉石けんは使わないでください。溶けにくいので、固まる場合があります。

部分的に運転する

「標準」コースで、脱水だけや、分け洗いなど、部分的な行程を選び運転することができます。

※他のコースでも部分的に運転できますが、コースによってできないものがあります。

例) 脱水のみしたいとき



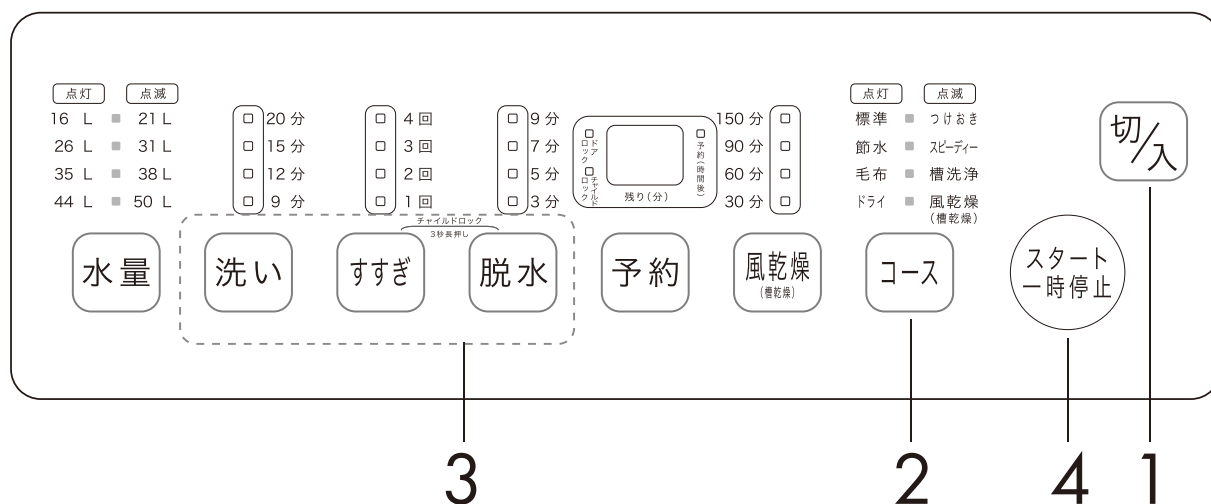
部分運転のしかた

こんなとき	行程	操作するボタン	運転内容
- 洗濯液を再利用する - あらかじめ洗剤を溶かしたい	洗いのみ	洗い	水は残ります。
すすぎ水を再利用したい	洗いとすすぎ	洗い すすぎ	水は残ります。
汚れ具合の違う洗濯物を分け洗いして脱水する	洗いと脱水	洗い 脱水	
洗濯物をすすぎたい	すすぎのみ	すすぎ	すすぎの効果を上げるため排水・脱水から始めます。水は残ります。
洗濯物を絞ってすすぎ脱水したい	すすぎ～脱水	すすぎ 脱水	すすぎの効果を上げるため排水・脱水から始めます。
脱水したい	脱水のみ	脱水	排水から始まります。
排水したい	排水のみ	脱水	ふたを開けておき E3 が

- すすぎからの運転で水位を設定しないと、自動的に一番上の水位に設定されます。
- つけおきコースで「洗いのみ」「洗い・脱水」「脱水のみ」の設定はできません。

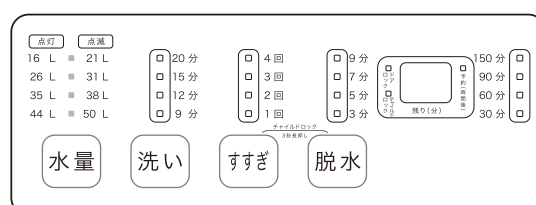
自分流に設定する

各コースの洗い時間、すすぎ回数、脱水時間などを変え自分流にコースを作ることができます。
洗濯コースによって設定できる内容が異なります。P23 をご覧ください。



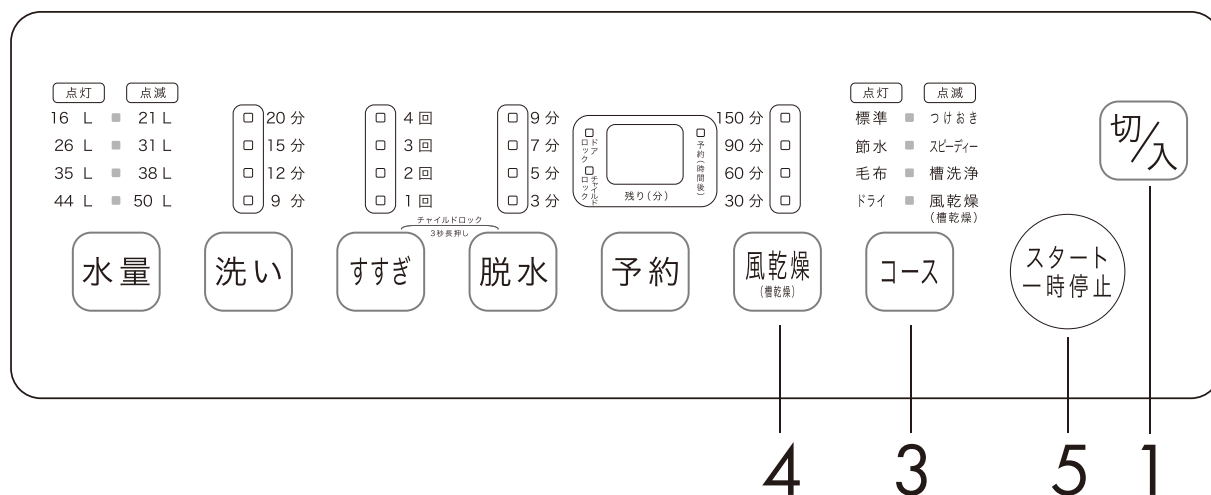
洗い運転中に運転内容を変更することができます

- スタート一時停止** を押して一時停止する
- 水量** **洗い** **すすぎ** **脱水** ボタンを使い変更したい行程を選ぶ
※全プログラム運転する場合、「脱水」には変更できません。
- スタート一時停止** を押して再度スタートする



風乾燥(槽乾燥)との組み合わせ

- 洗濯・脱水槽の回転で湿った空気を槽外に排気し、洗濯物から水分を飛ばします。
- 風乾燥(槽乾燥)後は衣類が冷たいため、乾いていないように感じることがあります。
- 衣類の量が多い場合や種類、気温・湿度によってシワがついたり乾きにくくなります。
- フリースなど軽い洗濯物は飛び出し、故障の原因になります。単独で運転してください。



1 洗濯物を入れ 切/入を押して 電源を入れる 洗濯物はほぐして片寄らない ように入れてください。	2 ふたを閉める	3 コースを押して コースを選ぶ 「風乾燥(槽乾燥)」を選ばません。
4 風乾燥(槽乾燥)を押して 「風乾燥(槽乾燥)」を選ぶ 時間を選択する。	5 「風乾燥(槽乾燥)」を 運転させる	6 運転終了 (ブザーでお知らせ) シワ防止のため風乾燥(槽乾燥)終了後、できるだけ早く洗濯物を取り出してください。

ふろの残り湯を使う

1. 洗濯物を入れたら、を押して を押してコースを選択して を押す
2. 給水が始まったら を押して「一時停止」にし、水位表示を目安に洗剤を入れる
3. 市販のふろ水給水ポンプやバケツなどで、ふろの残り湯を洗濯物が完全につかるまで入れる
4. を押し、ふたを閉める

※設定水位に達していない場合は、水栓から給水されます。

※すすぎは水栓からの水で自動的に行います。

※水温は40℃以下で使用してください。

※入浴剤や浴室用洗剤が入った残り湯は、成分によって洗濯・脱水槽を傷めたり、衣類に色に移るおそれがありますので、入浴剤や浴室用洗剤の説明書をよくお読みください。

洗濯・脱水槽の掃除(槽洗浄)

洗濯・脱水槽内がよごれていると、洗濯物によごれが付いたり、においや排水不良の原因になることがあります。のりづけをした後は、洗濯・脱水槽ののりを落とすため「槽洗浄」コースを運転してください。

また次のとき、1カ月に1回を目安に「槽洗浄」コースを運転してください。

粉石けんや液体石けんを使っている / 洗剤を多めに使っている

1. を押して電源を入れ を押して「槽洗浄」を選ぶ
 - ふたロックランプが点灯してふたロックがかかり、給水が始まります。
 - ふたを閉めないまま を押すと、約1分間水位と残り時間を表示します。
 - 約1分が経ってもふたが閉まっていないと、「E3」表示され、ブザーが鳴って洗濯は一時停止します。その場合は、ふたを閉じれば運転を再開します。
2. ふたを閉め を押す
3. 給水が終了した後に、を押し、ふたロックランプが消灯したらふたを開けて、塩素系漂白剤(約300ml)または槽洗浄用クリーナーを入れる(洗濯物はいれないでください。)
4. ふたを閉め、を押す
 - 運転を再開します。
 - ふたを閉めないまま を押すと、約1分間水位と残り時間を表示します。
 - 約1分が経ってもふたが閉まっていないと、「E3」表示され、ブザーが鳴って洗濯は一時停止します。その場合は、ふたを閉じれば運転を再開します。
5. 槽洗浄終了(ブザーでお知らせします)

《お願い》

- 連続して「槽洗浄」コースを運転しないでください。
- よごれがひどいときなどは、市販の洗濯槽クリーナー(塩素系)をご使用ください。使用方法是洗濯槽クリーナーの説明書に従ってください。
- 塩素系漂白剤が洗濯・脱水槽に直接付着しないように、必ず給水が完了してから使用してください。

洗濯・脱水槽を乾燥させる(槽乾燥)

洗濯終了後に「風乾燥(槽乾燥)」をすると、洗濯・脱水槽の湿気を取り、黒カビの発生を抑えることができます。

1. を押して電源を入れる。
2. を押し、「風乾燥(槽乾燥)」を選ぶ。「風乾燥(槽乾燥)」が点滅します。
3. ふたを閉め を押す。
 - 高速で洗濯・脱水槽とパルセーター(回転板)を回転させ、洗濯・脱水槽を乾燥させます。
 - ふたを閉めないとき が表示されます。運転が開始されません。
ふたを閉めると運転が開始されます。風乾燥(槽乾燥)終了はブザーでお知らせします。

※1週間に1回程度「風乾燥(槽乾燥)」コースを運転してください。(洗濯物はいれしないでください)。

※黒カビが発生したときは、「風乾燥(槽乾燥)」コースで取り除けません。

「槽洗浄」コースで洗濯・脱水槽を掃除してください

※洗濯・脱水槽の黒カビの発生は、使用環境によって異なります。

運転中の行程変更について

運転が始まると、洗い、すすぎ、脱水、コースの変更はできません。

電源を入れ直し、もう一度設定してください。

お手入れ

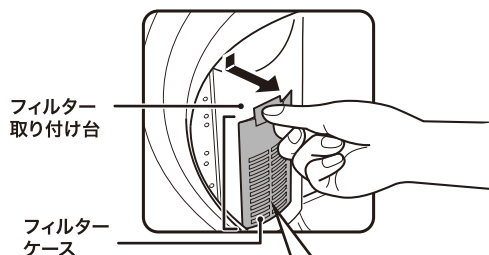
① 運転後、毎回お手入れしてください

糸くずフィルター

次回の洗濯時に糸くずが付くことがあるので、洗濯が終わったら毎回掃除をしてください。
また、糸くず がたまったまま使用すると、糸くずが取れにくくなったりします。
糸くずフィルターは消耗品です。壊れたときは、お買い上げの販売店でお買い求めください。

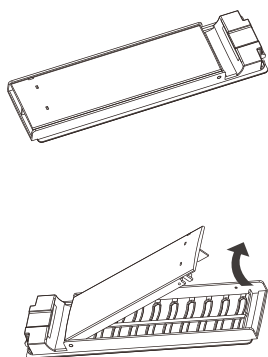
はずしかた

フィルターケース取り付け台の凹部に指をかけ、フィルターケースのツメ部を押し下げてから手前に引き、糸くずフィルターをはずす

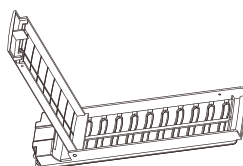


フィルターケースとフィルターケースカバー

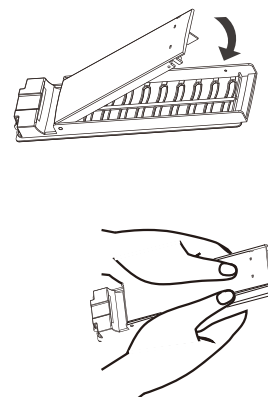
1. フィルターカバーをはずす



2. 糸くずを取り除く

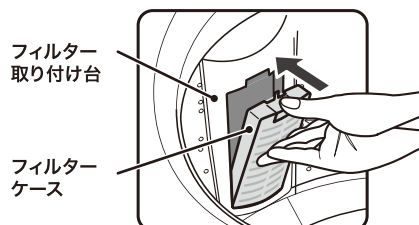


3. フィルターカバーを閉じる



取り付けかた

フィルターケースのツメ部を上側にして、フィルターケースの下部をフィルターケース取り付け台の凹部にはめて、フィルターケース上部をカチッと音がするまでフィルター取り付け台に押し付ける



お手入れ(つづき)

2 よごれが目立ってきたときにするお手入れ

本体・パネル・取っ手

柔らかい布でよごれを拭き取ってください。

よごれが落ちにくいときは、台所用洗剤をしみ込ませた布で拭き、その後乾いた布で拭いてください。

※ 化学雑巾、ベンジン、シンナー、クレンザー、住宅用・家具用合成洗剤などは使用しないでください。変色や傷、破損の原因になります。

※ ふたや操作パネルなどプラスチック部に洗剤が付いた場合は、乾いたタオルで拭き取った後、ぬれたタオルで拭いてください。

付いた洗剤をそのままにしておくと、プラスチック部が割れることがあります。

結露

気温が高く水温が低いときは、結露が生じ、床面をぬらすことがあります。市販の防水トレイをご使用ください。

排水口

排水口には糸くずやよごれがたまりやすいので、定期的にお掃除してください。

放置しておくと水 漏れ、排水の不具合や、悪臭の原因になります。

凍結のおそれがあるとき

洗濯・脱水槽、排水ホース、給水ホースの水を十分に抜いてください。

もし凍結してしまったら

- 給水ホース、粉末洗剤投入ケース40℃以下のお湯につけます。
- 凍結したホースを無理に曲げないでください。破損するおそれがあります。
- 粉末洗剤投入ケースは、よく水をきってからご使用ください。
- 本体：洗濯・脱水槽にお湯(4℃以下)をパルセーター(回転板)が全部つかるまで入れ、30分程度放置してください。その後、パルセーターが手で回ること確かめてください。



粉末洗剤投入ケース

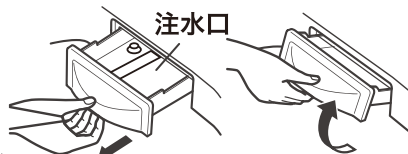
粉末洗剤投入ケースをはずして水洗いしてください。またケースをはずした後の注入口のよごれは拭き取ってください。

はずしかた

粉末洗剤投入ケースを手前に引き、持ち上げ、はずす

取り付けかた

はずしかたと逆の手順で、斜めに上から注水口に押し込む



3 給水時水の出が悪くなったとき

水栓を閉め給水ホースをはずし、給水口のフィルターを 歯ブラシなどで掃除してください。
(給水口にゴミが詰まっていることがあります)

※ フィルターが付いていない、または変形していると故障の原因になりますので注意してください。

※ 給水ホースをそのままはずすと水が飛び散りますので、下の手順で水抜きを行ってください。



給水ホースのはずしかた

1. 水栓を閉じる。
2. 電源を入れ  を押す
3.  を押し、約30秒後に電源を切ってから、洗濯機本体側の給水口ナットをゆるめてはずす。



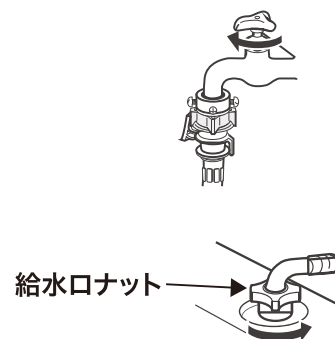
凍結のおそれがあるとき

凍結のおそれがあるときは、下記の手順で、給水ホース、洗濯・脱水槽、排水ホースの水を抜いてください。

給水ホースの水の抜きかた

1. 水栓を閉じる。
2. を押して電源を入れる。
3. を押す。
4.  ボタンを押して、約30秒後電源を切って、洗濯機本体の裏にある給水ホースのナット及び給水ホースを外します。

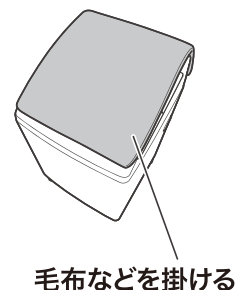
- 給水口ナットをはずすときに、給水ホース内の残水がたれる場合があります。給水口ナットの先にバケツなどの容器を置くか、雑巾などで水を受けてください。



ご使用の前に

洗濯・脱水槽、排水ホースの水の抜きかた

1. を押して電源を入れる。
2. を選ぶ。
3. を押し、「脱水のみ」で運転する。
ブザーが鳴ったら運転終了。
4. 排水ホースを上下に振って水を抜く。
寒冷地や凍結のおそれがある場合は、洗濯機の上部全体に毛布などを掛けてください。



洗濯コースと設定

お手入れ・アフターサービス

お困りのときは

「パネル部の表示がおかしい」「途中で止まる」「操作ボタンを押しても動作しない」ときは、外部からの雑音や妨害ノイズの影響を受けていることがあります。電源プラグを抜き、再び差し込んで動作を確認してください。

こんなとき	調べるところ
ふたが開かない	「ドアロック」「子供ロック」のランプが点灯、または点滅していませんか。 P10
運転しない	● 停電、またはご家庭のヒューズ・ブレーカーが切れていませんか。 ● 電源プラグはきちんと差し込まれていますか。 ● 電源「切/入」を押しましたか。電源「切/入」を押した後すぐに電源「切/入」を押すと、電源が入らない場合があります。 ● 「スタート/一時停止」ボタンを押していませんか ● ふたが開いていませんか。 P10 ● 予約中ではありませんか。 P20
水漏れ (別添の据付説明書もご覧ください。)	● 水栓の形状は適していますか。 ● 給水口にゴミが詰まっていますか。 ● 給水口ナットが傾いていたり、締め付けがゆるんでいませんか。 ● 付属品と異なるホース継手を使っていませんか。 ● ホース継手のネジやノズルがゆるんでいませんか。 ● 排水ホースがはずれたり、破れていませんか。 点検してください
異常音がする。 振動が大きい。 (別添の据付説明書もご覧ください。)	● 電源コードやアース線、給水ホースが洗濯機に当たっていませんか。脱水の振動で音が大きくなります。 ● 硬貨、マッチ棒、ヘアピン、金属物と一緒に洗っていませんか。 ● 洗濯機が傾いていたりガタついたりしていませんか。据え付けが不安定だと脱水の振動や音が大きくなります。 ● 洗濯物が片寄っていませんか。洗濯物が片寄っていると、洗濯・脱水槽が外箱に当たったり、脱水のときの振動が大きくなったりします。 ● 排水ホースは正しく処理されていますか。長すぎる場合は段部で切り、先端にスリーブを付け直して使用してください。 ● 洗濯物を入れすぎていませんか。

●改善されない場合は、お買い上げの販売店、またはご相談窓口にご相談ください。 **P34**

こんなときは故障ではありません

行程	状態	理由
運転前	始めて使用したとき 排水ホースから水が出た	工場の性能テスト時の残水です。
洗い	洗濯途中で給水する	- 洗濯中に水位が下がると、自動的に水が入ります。 - すすぎ運転は少し低めの水位から始まり、不足分を給水しながら運転します。
	洗濯物の量に対する 水量が合っていない	水量はセンサーによって検知した洗濯物の重量で決まります。化繊などが多いと軽く、ぬれたものが入っていると重いと判断するので、水位が合っていないときは洗濯物の量に合わせて調節してください。
すすぎ	すすぎからスタートすると水が入ってこない	衣類に含まれている水や洗剤を出すために脱水から始まります。脱水後に給水します。(洗濯・脱水槽内に水があるときは排水から始まります)
脱水	脱水の途中で突然 給水したり、 すすぎになる。 洗濯時間が長くなる	洗濯物が片寄って、安全スイッチがはたらいたためです。粉石けん使用時などで排水経路がよごれたときも、同様の症状になります。脱水中に洗濯物が片寄ると次の行程が追加されます。  片寄りを検知すると 給水して片寄りを修正 再び排水して脱水 脱水が止まる ※修正を3回繰り返しても改善されないときは E2 が点灯しブザーが鳴ります。P32 蓋を開けて、洗濯物を整理してから蓋を閉めてください。
	脱水時、モーター音が する	一定の間隔で切り替えるため、音が発生します。故障ではありません。
その他	照明がちらつく	運転中に照明がちらつくことがありますが、これは屋内配線の抵抗など電源事情によるものです。照明のちらつきは、インバーター蛍光灯にすると多少改善されることがあります。
	排水中ゴボゴボと 音がする	水に空気が混ざり合う音です。洗濯機の排水経路から出ている音で異常ではありません。
	自動で電源が切れない	表示が点滅しているところがありませんか。表示を確認してください。 P32
	操作パネル部分が熱 を持つ	電子部品の放熱作用によるものです。
	テレビに線が入る ラジオに雑音が入る	テレビやラジオと洗濯機を3m以上離してください。
	使用初期に においがする	使用初期にモーターから絶縁材のにおいが多く出ることがあります。約1週間ほどでにおいはなくなります。
	運転後パルセーター が回る	クラッチを切り換える動作です。

こんなときは故障ではありません(つづき)

衣類の仕上がりについて

行程	状態	理由
その他	洗濯物がよごれたり、シミが付く	● 粉石けんや液体石けんを使うと、洗濯・脱水槽がよごれやすく、洗濯中に洗濯物がよごれることがあります。 ● のりづけ後に洗濯・脱水槽を洗っていますか。洗濯・脱水槽を洗わないとのりが付いたままになり、それがはがれて洗濯中に洗濯物がよごれることがあります。(洗濯物がよごれるときは「槽洗浄」コースで洗濯・脱水槽を掃除してください。) ● 柔軟剤が部分的に付いてシミになることがあります。同量の水に溶かして使用してください。
	洗濯物に洗剤が付いている(糸くずフィルターに残る)	水温が低い(10℃以下)と洗剤が溶けにくくなります。化繊など水に浮きやすい衣類やジーンズのように生地が厚くかたいものは、洗濯・脱水槽の上部にあると洗剤が残りやすくなるので、下の方に入れてください。洗剤残りが気になるときは、ふろの残り湯を利用するなどしてください。
	洗濯物が黄ばむ(鉄さびを多く含んだ水がでる)	断水した後は、水がきれいになってから使用してください。鉄さびを多く含んだ水で洗濯すると、洗濯物が黄ばむことがあります。白い洗濯物に鉄さびが付いたときは、市販の還元型漂白剤(ハイドロハイターなど)をお使いください。色柄物のときは使用できません。
	洗濯物が傷む	● デリケートな衣類は、洗濯ネットに入れてください。 ● 水に浮きやすいフリースなどの衣類やベッドパッドなどは、洗濯ネットに入れてください。(ベッドパッドなどの大物は、毛布ネットの使用をおすすめします) ● 衣類の毛羽立ちは、生地の摩擦によって起こります。気になるときは洗濯物を裏返しにしたり、洗濯ネットに入れて洗濯してください。

こんな表示がでたら

ブザーが鳴り、以下の表示が出ているときは、説明に従って点検してください。

※改善しない場合は、電源を切ってから水栓を閉じ、電源プラグを抜いて修理を依頼してください。

表示	調べるところ	処置
	- 排水ホースは正しく取り付けられていますか。 - 排水ホースがつぶれていませんか。 - 排水ホースを倒してありますか。 - 排水ホースが凍結していませんか。 - 排水ホースの先端が水につかっていませんか。 - 排水ホースや排水口に砂やドロ、糸くずなどが詰まっていませんか。	 点検後ふたを一回開閉する。
	- ふたが開いていませんか。 - ふたロック部に異物が挟まっていませんか。 - ふたが完全に閉まっていますか。	 ふたを閉めてください。
	予約プログラムは実行中ですか。	 ふたを閉めてください。
	- 洗濯物が片寄っていませんか。 - 洗濯機がガタついたり、傾いた床面に置いていませんか。	 洗濯物の片寄り、洗濯機のカタつきを調節後、ふたを閉めてください。
	- 水栓が閉じていませんか。 - 水道が凍結したり断水していませんか。 - 給水口のフィルターにゴミがたまっていますか。	 点検後ふたを一回開閉する。
	チャイルドロックモードがONになっているか確認する。ONの場合、蓋を開けるとE3アラームとなる。	 ふたを閉めてください。
	蓋ロックは失敗しました。	 ふたを閉めた後一回開閉する。
   	制御部品の修理や点検が必要です。 ※電源を切ってから水栓を閉じ、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店か、ご相談窓口 に連絡し、修理・点検を依頼してください。 P34	

製品仕様

種類	全自動電気洗濯機	標準脱水容量	7.0Kg
定格電圧	AC 100V	標準使用水量	280L
定格周波数	50/60HZ 共用	防水レベル	IPX4
定格入力	410W(50Hz)/470W(60Hz)	外径寸法	幅530X奥行520X高さ922 (mm)
標準洗濯容量	7.0Kg	質量	30Kg

安全表示制度の本体表示について

本体への表示内容

経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の表示を本体に行っています。【製造年】(本体に西暦4桁で表示してあります)



【設計上の標準使用期間】7年

設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

設計上の標準使用期間とは

- 運転時間や温湿度など、以下の標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
- 設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、一般的な故障を保証するものでもありません。
- 標準的な使用条件 日本工業規格JIS C9921-4による。

区分	項目	条件
環境条件	電圧	単相 100V
	周波数	50/60Hz
	温度	20℃
	湿度	65%
負荷条件	負荷	6.0Kg
	コース	標準コース
	給水圧力	0.03~0.8MPa
	給湯・給水	20℃±15℃

区分	項目	条件
使用時間 及び回数	一日の平均使用回数	1.5回
	一日の使用時間	標準コースの時間 (取扱説明書による)
	一年間の使用日数	365日
	一年間の使用回数	1.5回×365日=547.5回/年

経年劣化とは

- 長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。
- 設置状況や環境、使用頻度が上記の条件と異なる場合、または、本来の使用目的以外でご使用された場合は、設計上の標準期間より短い期間で故障したり経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

家庭用以外で使用了場合

本製品は一般家庭用です。美容院や美容院、また、飲食店や寮、病院など一日の使用時間が一般家庭 に比べて極端に長い時には、短時間で部品の交換が必要になることがあります。

この場合は、保証期間内でも原則として有償修理となります。

短期間で部品交換や清掃が必要になることがあるため、お買い上げの販売店にご相談のうえ、定期的に点検を受けてご使用ください。

廃棄について

2001年4月施行の家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの洗濯機を廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金(リサイクル料金)をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適性に引き渡すことが求められています。

長年ご使用の洗濯機の点検を！		
 愛情点検	このような症状はありませんか。	● 洗濯・脱水槽が止まりにくい。 ● 水漏れする（ホース、水槽、ホース継手）。 ● こげくさいにおいがしたり、運転中に異常な音や振動がある。 ● 本体に触れるとビリビリと電気を感じる。 ● 据え付けが傾いたりグラグラしている。 ● スイッチを入れても、動かないときがある。 ● 電源コード、プラグが異常に熱い。 ● その他の異常・故障がある。
		ご使用中止 このような症状のときは、故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

